

令和2年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会

- 開催日時 令和2年8月6日(木) 午前10時から午前11時45分
- 開催場所 狭山市役所602会議室(6階)
- 出席者 中山委員、小川委員、岡村委員、横山委員、塩崎委員、渡辺委員、
林委員、中村委員、田口委員、奥本委員、鎌田委員、丸山委員、
川内委員 以上 13名
- 欠席者 山梶委員、山口委員
- 事務局 神田環境経済部長、千葉環境経済部次長、立川資源循環推進課長、
吉田奥富環境センター所長、市川副所長、小巖主幹、
小林稻荷山環境センター副所長、資源循環推進課橋本主幹、鈴木主事補
- 傍聴者 なし

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 自己紹介

5 会長・副会長の選出

会 長 小 川 洋 之 委 員

副会長 中 村 光 世 委 員

6 議 題

(1) 狭山市の清掃行政について

事務局 廃棄物の概念、廃棄物の処理に関する計画、廃棄物の処理フロー、処理施設、令和元年度ごみ処理経費、令和元年度ごみ収集量について説明

[質疑応答]

議長 これに関して、意見・質問があればお願いします。

委員 数年前に、川崎市の昭和電工で狭山市のプラスチックが処理されている状況を見学した覚えがあるが、現在も同じか。

事務局 プラスチックリサイクルについては、自治体により集め方が異なっており、狭山市はプラマークの付いている容器包装プラスチックとそれ以外のおもちゃや文房具など、プラスチックだけでできているものも一緒に袋で収集しています。国も令和4年度から一緒に集めるような方針を示していますが、狭山市では、開始当初から、容器包装プラスチックとそれ以外のプラスチックを一緒に集めています。

見学されたのは、狭山市の容器包装プラスチックを圧縮・梱包して、容器包装リサイクル協会に引渡したものについて、協会が契約している処分先だと思います。処分先は協会の入札により、毎年度変わりますが、本年度は、千葉県にある日本製鉄でケミカルリサイクルされています。集められたプラスチックのほとんどは容器包装プラスチックですが、それ以外のプラスチックは市内の民間処理施設で独自ルートによりマテリアルリサイクルをしています。

委員 以前、もやすごみを減らそうということで、もやすごみから雑がみを分別しようとの話があったが、資料の3ページ、資源物の処理フローでは、どこに入りますか。

事務局 雑がみは、古紙の分類となりますので、資料の3ページの一番下の古紙・古布に入ります。古紙の日に、ダンボールや新聞など、それぞれ分けて出させていただいていますが、雑がみについては雑誌の間にはさむか、紙袋に入れて、十字に縛って出させていただくよう推進しています。

委員 資料の2ページ、家庭系ごみ（1人1日の排出量）について、元年度実績値と令和3年度の計画目標との差が、一人あたり約50グラムあり、狭山市全体とするとかなりの量となるが、対策はありますか。

事務局 令和3年度計画目標値の597グラムは、基準年の平成22年度実績値697グラムから、100グラムを削減しようという目標を立て、様々な施策により取り組んできましたが、計画どおりに削減が進んでいない状況にあります。削減に向けては、先ほどの質問にもありました、もやすごみに含まれる雑がみの減量のほか、7月1日からはレジ袋の有料化が始まりましたが、海洋汚染の問題となっているプラスチックが無造作にもやすごみの中に入っていることもありますので、そのようなものの分別を徹底していきたいと考えています。

また、リサイクルの取り組みについては、新たなリサイクル品目を増やしていきたいと考えています。これまでも、綿布団のリサイクルは行っていましたが、今年度から、試行的に羽毛ふとんのリサイクルを始めました。このほかにも、研究してリサイクルできるものを、さらに増やしていきたい、全体としてごみの減量化に取り組んでいきたいと考えています。

(2) 稲荷山環境センター施設整備計画について

事務局 別添の狭山市稲荷山環境センター施設整備計画基礎調査検討報告書について説明

[質疑応答]

議長 これに関して、意見・質問があればお願いします。

委員 現稲荷山環境センターには焼却炉が3炉あると思うが、計画は3炉全てなのか、2炉なのか。

事務局 現在の稲荷山環境センターは、55トンの炉が3炉ありますが、基礎調査では、将来のごみ焼却量を110トンと想定しており、2炉で足りることになります。基幹改良あるいはB案のプラント更新、どちらも2炉の工事として計画しています。

委員 A案での、工事に伴う焼却炉の停止期間はどの位になるのか。

事務局 焼却炉の工事は個別に工事ができることから停止せずに工事が行えますが、焼却施設の共通部分の工事期間については、焼却を停止せざるを得ません。調査結果では、停止期間をおよそ半年間と想定しています。停止期間中のごみについては、協定を締結している近隣市での処分となります。

委員 稲荷山環境センターのある地元自治会、住民としては、焼却の際に排出されるガス、ダイオキシンなどの有害物質の排出について、とても心配しています。住民が納得できるようにそれらの数値等を報告書に載せてほしい。CO²の排出量については、記載されているが、排出されるガスに含まれる有害物質などは記載されていない。これら有害物質について、国が定める許容数値や現施設の数値、改修後の数値などを目に見える形で、住民や市民が安心して納得できるように報告書に載せて欲しい。

事務局 ごみ処理施設を建設する際には、厳しい国の基準があり、いずれの案についてもその基準をクリアしています。環境負荷に関する評価項目の中で提示しているCO²については、温室効果ガスとして、焼却により生じるCO²量と施設を運転するための電気を発電するために要するCO²の発

生量の合計を比較しています。

焼却方式については各案とも、同じストーカ焼却方式で選定しているので、排出ガス等の具体的な数値での違いはありません。ただし、A案は既存の施設を修繕することから、現在と同程度の数値と考えられます。また、新設する場合にも、当然、国の基準をしっかりとクリアしています。具体的な数値について、この比較検討の中では示していないが、現状と同様に国の基準よりもさらに厳しい基準を市で設定して、それをしっかりとクリアすることを地元の方に理解いただけるよう説明したいと思います。

委員 数値化されていると住民からの納得が得やすいのではないかと。排出されるガス等に含まれる物質が、人体にどれ位で有害となるのかなど、具体的に示され、住民が納得しやすいようにしていただきたい。

事務局 排出ガス等の具体的な数値につきましては、現在、定期的に検査した結果を報告していますが、細かい数値は、運転後の測定になります。選定案はいずれも基準をクリアして安全であるということ伝えていきたいと思えます。

委員 先ほど、D案の説明をされた時、生ごみを回収するのは、住民の負担になるとの言葉があったが、生ごみリサイクル事業の回収量が伸びていない状況であるが、市では、住民の負担になるので、生バケツ回収は申し訳ないと考えているのか。

事務局 狭山市では、専用バケツを使用した生ごみリサイクル事業の拡大のために頑張っているところであり、ごみを減量するために負担とは思われないよう前向きに取り組んでいる事業です。事業を理解いただいている方からは、「バケツに分別することは、それほど手間ではありません」と温かい言葉をいただきますが、多くの方からは、「手間がかかってしまう」という意見をいただきます。D案の湿式を選択した場合、すべての方に、「もやすごみの中から、生ごみだけを分けて袋に入れ出してください」と説明した際には、「手間がかかる」というご意見を多くいただくことが予想されますことから、評価を下げているものです。

委員 将来的には、広域化の可能性についても検討が必要となっているが、現段階での、広域化になった時のメリット、デメリットがあれば教えてください。

事務局 メリットについては、複数の市で集まって大きな施設を作ることから、スケールメリットを活かして施設規模を大きくすることにより、建設単価を下げるができるということが一番のメリットと考えます。

デメリットとしては、市によって、分別の区分等がかなり異なっており、もやすごみに出して良いもの、粗大ごみの大きさが違うことなど、また、

持ち込みの料金・手数料の設定も各市で違ってしますので、これらのすり合わせが必要となります。一番の課題としては、どこに施設を作るのかということで周辺住民の理解が得られるかということ。施設までの運搬距離が遠くなった場合、時間や運搬経費の増加などが予想されます。

委員 集積場等でのカラスのいたずらが酷く、生ごみが散らかっているが、収集時間の変更、例えば深夜時間への変更について、検討されているのか。深夜は交通量が少ないことや防犯的な面からもメリットがあるのではないか。収集時間についての検討はしているのか。

事務局 深夜に回収する事例は、カラスのいたずら被害がなく、防犯的な面からもメリットがあるとマスコミ等で紹介されています。市では収集方法の見直しの際に、そのようなことも考慮いたしましたが、収集業者にとっては深夜労働となりますので、収集経費の増加や収集業者の理解を必要とします。今のところは収集時間を変更する予定はありません。

7 その他(事務局より説明)

ごみ分別アプリ配信開始について

8 閉 会

配付資料

- ・令和2年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会 次第
- ・狭山市廃棄物減量等推進審議会委員名簿
- ・資料1 狭山市の清掃行政について
- ・清掃行政の概要 令和2年度版（令和元年度実績）
- ・狭山市稲荷山環境センター施設整備計画基礎調査検討報告書
- ・ごみ分別アプリ 配信開始広報チラシ